

令和 7 年度第 2 回文化講演会報告 高鷲周辺の山城について

講師：曾我謙之助 先生

令和 7 年 9 月 14 日、高鷲町民センター第 3 研修室で第 2 回文化講演会が開催された。演題は「高鷲周辺の山城について」として、曾我謙之助さんが 9 時から約 1 時間半の講演をされた。視聴者は右写真の通り 8 名だった。曾我さんは高鷲郵便局長を務められ、白鳥町在住です。

曾我さんは「日本の百名城」・「続日本の百名城」を廻られたということで、日本のお城は遠くから眺める天守閣の姿、近くで見る土塁や深く切り込んだ濠の姿、長い年月にわたって自然の中に溶け込んできた日本のお城の風景に感銘を受けられ、お城に対し大変興味を持たれました。



講演を聞く会員(水上氏撮影)



今回は白鳥町の山城跡の話を資料の地図を使って分かりやすく説明していただきました。

郡上北部の山城の内、鷲見城、前谷城、烏帽子山城、長滝城、原口城は、郡上北部を治めていた鷲見氏の出城であり、二日町城、六ツ城、高洞城は承久の乱以降郡上を治めた新補地頭の東氏の出城であった。(ただし石徹白の城跡は除く)。曾我氏は左の写真の通り「日本百名城」を掲げて、城や城跡に対する興味が高まった頃に白鳥町教育委員会が「中世城砦調査報告書」を発行された。これが白鳥ふれあい創造館にある郡上市図書館で見つけることが出来たことのうれしさを講演

「日本 100 名城」を紹介する曾我氏（水上氏撮影）の初めに述べられました。

前述の城址は鎌倉時代から建武中興までの築城と云われ、城域や規模は小さいが、交通の要衝にある地点の山頂に建てられており、郡上地域の中で相対する東氏と鷲見氏の二大勢力がそれぞれの攻撃と防御の拠点として配置していたと考えられると述べられた。

今後はお城を展望台として、ハイキングコースとして整備し、地域学習の場として地域活性化に役立てるとよいとまとめられた。



9月の高鷲文化財理事会報告

曾我氏の講演会の後に高鷲文化財保護協会の臨時理事会が町民センター研修室で行われた。議題と審議内容は次の通りである。

議題

- 1 たかすふるさと祭 展示について
期 日 10月5日（日） 午前10時～
展示内容 文化財保護協会の紹介と鷲見氏をパネル紹介及び写真展
責任者 水上会長、平井副会長、その他
- 2 県外研修について
期 日 11月2日（日）
行 先 滋賀県（旅程は別記）
参加者数 10人乗りワゴン公用車＋自家用車
責任者 山下副会長
旅程と時間
7:30 高鷲振興事務所前集合・出発
↓
10:30 滋賀県野洲市歴史民俗博物館見学（学芸員の説明あり）
↓
11:30 銅鐸博物館見学（館内説明あり）
↓
12:30 道の駅竜王 かがみの里（昼食）
↓
14:30 渡岸寺（観音堂・国宝十一面観音立像）見学（長浜市高月町）
泰澄大師作と言われる観音像。白山信仰の町。
↓
15:00 高月町出発
↓
17:30 高鷲振興事務所前着
- 3 鷲見城祉標柱について
補強作業の実施日：9月20日（土）8:00 鷲見城祉上り口集合
標柱補強金具は事務局で確認済み
詳しくは；上村強（会計）氏におたずね下さい（72-6321 高鷲町民センター内）
- 4 郡上市文化財保護協議会文化財探訪の旅
日 時 10月14日（火）
募集人数 25名
締め切り 9月29日（月）
行き先と行程
7:50 白鳥ふれあい創造館→大和庁舎 8:05 →郡上市歴史資料館 8:25 →
→日吉町バス停 8:35 →花屋の加藤前 8:40 →元相生バス停（法伝橋）8:50
→日本まん真ん中センター 9:05 →多治見市陶都創造館 10:15 ～ 11:15 →
→昼食（サガミ）→瀬戸市瀬戸蔵ミュージアム 13:10～14:10 →日本まん真ん中
センター 15:25 →元相生バス停（法伝橋）15:45 →花屋の加藤前 15:50 →
→日吉町バス停 15:55 →郡上市歴史資料館 16:05 →大和庁舎 16:25 →
→白鳥ふれあい創造館 16:40
- 5 郡上市文化財保存活用地域計画作成に対する要望について

お知らせ

10月31日（金）「ぎふメディアコスモスみんなのホール」
で文化財講演会があります。講師はお城の調査で有名な千田嘉博先生です。詳しくはパンフレットが町民センターにありますのでお読み下さい。